学校番号	309

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	５単位	年次	１年次
使用教科書	「新　探求国語総合　現代文・表現編／古典編」（桐原書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・皆さんが活躍する２１世紀は、多様な価値観が存在し、変化の激しい時代です。多様な価値観を理解するために、１年生では将来に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・入試改革が進み、暗記中心の入試から思考力や記述力、協働性が試される入試に移行しつつあります。そのため、話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・授業の前には担当教員の指示に従って本読みや意味調べ等予習をし、授業の後には復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	論理的思考力を主体的に磨き、国語を尊重してその向上を図ろうとする。古典作品から現代作品に至るまでの幅広い文章を読み、我が国の伝統・文化・教養に対する関心を持つ。	他者の意見を傾聴し、意図を理解する。目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめて深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめることができる。想像力を発揮し、読み手を意識した文章を創作できる。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして自分の考えを深め、発展させている。他の情報や文章と比較し、自己の考えを発展させるような読み方ができる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。話す・書く・読む際に必要な情報を収集し、適切に使える。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート・ワークシート等）	行動の観察 パフォーマンス評価	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察・記述の確認（ノート・ワークシート等） 定期考査・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	随想(一)	【近代以降】 教材:「旅する力」	◎	○	○	◎		a：作者の体験を通し他国での生活について想像し、意見文を書いたり他の人の意見文を読んだりして、ものの見方や考えを広げる態度を養う。 b：作品の内容を踏まえて自身のこととして考えを深め、わかりやすく話している。 c：作者の意見に対し、自分の考えや意見を正しい文章にして書くことができる。 d:作者の「旅」に対する考えが、どのように書かれているのかを捉え、作者の考えについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b・c:記述の確認と分析 d:定期考査
	評論(一)	【近代以降】 教材:「サイボーグとクローン人間」	○		○	◎	○	a:評論文についての論理の展開や要旨を的確にとらえようとしている。 c：作者の意見を理解し、要旨をまとめて書くことができる。 d：筆者の主張を読み解き、「サイボーグ」と「クローン」に対すす考えの違いを理解する。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認と分析 d:定期考査 e:小テスト
	小説(一)	【近代以降】 教材:「羅生門」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト

	評論(二)	【近代以降】 教材:「経済の論理/環境の倫理」	○		○	◎	○	a:教材に興味をもって意欲的に取り組んでいる。 c:「経済の論理」と「環境の倫理」の違いについて、本文の主旨をふまえ、自分の考えを書いている。 d:本文の例について、内容や意味を理解し、「倫理」が必要な資源であるという考え方を理解している。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認と分析 d:定期考査 e:小テスト
	随想・詩歌	【近代以降】 教材:「二十億光年の孤独」	◎			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。意見文を書いたり他の人の意見文を読んだりして、ものの見方や考えを広げる態度を養う。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:押韻やリズム、文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e:記述の確認と分析及び定期考査
	古文入門	【古典】 教材: 説話『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「検非違使忠明のこと」 文法等…歴史的仮名遣い、品詞の種類、活用、活用形	◎			○	○	a:文章表現に即して読み、「児」や「僧」の心情や人物像をとらえている。 d:古語と現代語の共通点、相違点について気付いている。 e:古文を読むことに必要な文語の決まりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	物語と軍記	【古典】 教材:『竹取物語』 「なよ竹のかぐや姫」 文法等…形容詞・形容動詞・音便	○			◎	○	a:文章に描かれている当時の情景を語句に注意しながら読み、人物の言動や状況を把握しようとしている。 d:文中の登場人物の心情を表現に即して読み、話の面白さを感じながら読み深めようとしている。 e:古文を読むことに必要な文語の決まりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

2学期	小説(二)	【近代以降】 教材:「神様」	○	○		◎	○	a:現実と架空の入り混じった特徴的な世界観を理解しようとし、正しくとらえようとしている。 b:作品の内容を踏まえて登場人物像に迫り、わかりやすく話している。 d:「くま」のこの世界における立ち位置を理解している。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d:定期考査 e:小テスト
	評論(三)	【近代以降】 教材:「なぜ、多様性が必要か」	○	○		◎	○	a:教材に興味をもって意欲的に取り組んでいる。 b:「生命の多様性」について、具体的な事例をあげながら話し合っている。 d:筆者が考える「ヒト」と他の多様な生命との違いはとはどのようなものか、理解している。 e:語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 c:記述の確認と分析 d:定期考査 e:小テスト
	物語と軍記	【古典】 教材:『伊勢物語』 「芥川」 「筒井筒」 文法等…助動詞(き・けり・ず)	○			◎	○	a:地の文と和歌の関係をふまえて男の心の心情をとらえる。 d:歌物語における和歌の修辞や、語句の用い方について理解している。 e:古文を読むことに必要な文語の決まりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認 e:小テスト及び定期考査
	随筆と日記	【古典】 教材:『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」 「奥山に猫またといふものありて」 文法等…助動詞(つ・ぬ・たり・り)	○			◎	○	a:文章に描かれている当時の情景を語句に注意しながら読み、人物の言動や状況を把握しようとしている。 d:語句の意味について理解している。 e:古文を読むことに必要な文語の決まりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認 e:小テスト及び定期考査
	漢文入門	【古典】 教材:漢文の基礎 故事成語 「推敲」 「漁夫之利」	○			○	◎	a:漢文訓読の文体に注意しながら読んでいる。 d:故事成語などの短文の組み立てなどを的確に捉えている。 e:漢文を読み解くことに必要な訓読の決まりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確 e:小テスト及び定期考査

	随筆と日記	【古典】 教材: 日記『土佐日記』 「門出」 「帰京」 文法等…音便・助動詞(る・らる・む・なり)	○			○	◎	a:人物、情景、心情など対比的にえがかれている箇所を捉え、その効果について考える。 d:文章に描かれている作者の心情や時代背景など表現や語句にも注意しながら読み、内容把握している。 e:古文を読むことに必要な文語の決まりを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認 e:小テスト及び定期考査
	物語と軍記	【古典】 教材: 軍記『平家物語』 「木曾の最期」 文法等…助動詞(す・さす・しむ)	○			○	◎	a:人物、情景、心情など対比的にえがかれている箇所を捉え、その効果について考える。 d:文章に描かれている作者の心情や時代背景など表現や語句にも注意しながら読み、内容把握している。 e:古文を読むことに必要な文語の決まりを理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認 e:小テスト及び定期考査
	小説(三)	【近代以降】 教材:「夢十夜」	○	○		◎	○	a:作品に興味をもって意欲的に学習に取り組んでいる。 b:「第一夜」と「第六夜」のどちらが興味深かったかについて、わかりやすく話している。 d:「第一夜」冒頭の一文の位置づけと、作品の構造を理解している。 e:作者や日本の近代文学についての理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:行動の観察 d:定期考査 e:小テスト
	随想・詩歌	【近代以降】 教材:教科書に掲載された短歌	○		○	◎	○	a: 三十一文字のリズムや区切れをふまえて単価を読んでいる。 c:短歌の決まりを踏まえて、短歌を創作する。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 c、d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	史伝	【古典】 教材: 史伝『十八史略』 「鶏口牛後」 「鶏鳴狗盗」	○			◎	○	a:本文中に登場する地名や語句について、積極的に調べたり、確認したりしている。 d:漢字の読みや訓読の決まりに注意して正しく訓読し、登場人物の行動やその根拠を的確にとらえている。 e:漢文に特有の語や基本的な句形について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認と分析及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す･聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e：知識･理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。